

## 6月20日以降の授業形態について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年6月17日)

6月20日をもって緊急事態宣言が解除されることが濃厚になり、京都大学も対面授業に移行すると KULASIS にありましたが、もしばらくはハイブリッド型授業にしていきたいです。その理由としては3つあります。

まず1つめの理由としては、やはりまだ感染が怖いということです。私は自宅生で大阪から通学しているのですが、通学途中でどうしても人が密集するところを通らなければならず、感染の危険性は否めません。また、大学でも感染のリスクはあります。オンライン授業に移行する前に何度か食堂を利用したのですが、長蛇の列ができており、食堂の中も密でした。その上食べながら喋る人が大半であり、「感染のリスクが高い」と恐怖心を抱きました。いきなり全面対面授業に移行すると食堂の密は避けられず、少なからず感染者が増えてくると思います。また、無症状の人がいた場合が怖いです。

2つめの理由としては、体調を崩すおそれがあるということです。

オンライン期間になり、対面の時と生活リズムが変わった人が多くいると思います。私も対面授業の時より1時間30分程度起床時間が遅くなりました。いきなり対面授業に移行すると、生活リズムを立て直せず、暑さに体が慣れていないため熱中症の危険性もあります。私は高校時代、6月は数回分散登校があり、それ以外はオンライン授業で、7月から対面に移行しました。このように体を慣らす時間がないと、すぐに疲れて免疫も低下し、コロナに感染しやすくなり、健康を害してしまいます。もしばらくは対面授業とオンライン授業を選べるようにしていきたいです。

3つめの理由としては、体調が悪いと感じたらすぐに休むことができるということです。

対面授業だと「どうしても出席しなければならない」という強迫観念にかられて少々体調が悪くても無理を押し通学してしまい、周囲の人に感染させるリスクが生じてしまいます。対面授業とオンライン授業を選択できるハイブリッド型にさせていただくと、休みやすくなり、そのようなリスクも下がると思います。

以上の理由により、私はぜひとも対面授業とオンライン授業を選べるハイブリッド型授業にしていきたいです。授業をライブ配信することにより、教員の方々のご負担をかけることにもなるということは承知しておりますが、何卒よろしくお願い致します。

【回答】(回答日:2021年6月30日)

(回答部署:教育推進・学生支援部教務企画課)

ご意見ありがとうございます。

授業実施方法については、いろいろなご意見をいただいているところですが、本学では、6月21日に「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドライン」の対応レベルがレベル1に変更されたことにより、6月24日頃から順次、対面授業を再開することとなりました。

一方で、様々な事情から大学へ通学すること、キャンパスでの活動に不安を抱く方もおられるかもしれません。これについては、適切に対応を行うこととしていますので、不安があるようでしたら所属部局の教務担当へ御事情などご相談いただくようお願いいたします。